

安全データシート（SDS）

1. 製品及び会社情報

製品名 : ポリテツ
会社名 : 株式会社土田商店
住所 : 諏訪郡下諏訪町 242-1
代表者 : 土田耕嗣
電話番号 : 0266-28-3232
FAX : 0266-28-3235
整理番号 :
緊急連絡先 : 諏訪化成品センター
担当者 : 五味 国博
電話番号 : 0266-73-2500

2. 組成、成分情報

単一製品・混合製品の区別 : 単一製品
化学名 : ポリ硫酸第二鉄液
成分及び含有量 : Fe 11%
化学式又は構造式 : $[Fe_2(OH)_n(SO_4)_{3-n/2}]_m$
官報公示整理番号 : 化審法(1)-359
CAS No : 14125-33-8
国連分類 : 記載なし
国連番号 : 記載なし

3. 危険有害性の要約

GHS 分類 : 皮膚腐食性/皮膚刺激性 : 区分 1C
眼に対する重篤な損傷/眼刺激性 : 区分 1
急性毒性 : 経口 : 区分 5
水生環境有毒性 短期 (急性) : 区分 3

GHS ラベル要素 :



危険

危険有害性情報 : 重篤な皮膚の薬傷・眼の損傷
重篤な眼の損傷
飲み込むと有害 (経口)
長期的影響により水生生物に毒性

上記で記載がない危険有害性は分類対象外または分類できない。

最重要危険有害性

人の健康に対する有害な影響：皮膚、粘膜に触れると炎症を起こす。
環境への影響：環境への流入は、pHの低下や懸濁物を増加させる。
物理的および化学的危険性：金属類、コンクリート等を腐食する。
特定の有害危険性：特になし

4. 応急処置

吸入した場合：

ミスト等を吸入した場合は直ちに患者を毛布等で包み、新鮮な空気が得られる場所に移し、うがいを行い安静にさせ、直ちに医師の手当てを受ける。

皮膚に付着した場合：

速やかに付着した衣類、靴等は脱がせ、多量の水を用いて洗浄する。炎症が起きている場合は包帯等を施し、直ちに医師の手当てを受ける。

眼に入った場合：

直ちに多量の水を用いて15分以上洗浄する。洗浄の際はまぶたを指で開いて、眼球・まぶたの隅々まで十分に洗浄すること。洗浄後は速やかに医師の診察を受ける。

飲み込んだ場合：

意識がある場合は大量の水を飲ませ、医師をできるだけ早く呼ぶ。意識を失っている患者に何も与えてはならない。

5. 火災時の措置

消火剤：水噴霧、粉末、泡消火器、不燃性ガス等が有効である。

消火方法：本品自体は不燃性であり、助燃性もない。

消火作業は安全な距離を確保し、風上から行う。

棒状の水を噴射するものは、飛沫を周囲に飛散する恐れがあるから注意する。

容器周辺の火災の場合には、速やかに容器を安全な場所に移動する。移動不可能な場合は、容器およびその周囲に散水して冷却する。

消火を行なう者の保護：

「8. 暴露防止及び保護措置」の項に記載の保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項：

風下の人を避難させる。漏洩した場所の周囲にはロープを張るか、または付近に警告を発するなどして人の立入りを禁止する。

漏洩した箇所の修理、その他の作業をする場合は、保護眼鏡、保護手袋、長靴、保護衣、安全帽など適切な保護具を着用する。風下で作業しない。

必要に応じて保健所、消防機関、警察署へ通報する。

環境に対する注意事項：

環境への流入は、pHの低下や懸濁物を増加させるので、漏出した本品を未処理のまま河川等、自然界へ流出させないようにする。

除去方法：

(少量) 漏洩した液は砂、ウエス等に吸着させて取り除き、多量の水で洗い流す。

(多量) 漏洩した液は土砂等でその流出を止め、これに吸着させるかまたは安全な場所に導き、濃厚な液が河川等に流れ込まないようにしてから回収する。回収不能分に

についてはソーダ灰、消石灰等で中和し、多量の水で洗い流す。

7. 取扱い及び保管上の注意

- 取扱い : 作業は「8. 暴露防止及び保護措置」の項に記載の保護具を着用して行なう。
自然換気ができないときには局所排気装置を設け、室外排出をする。
作業場所の近くに洗眼及び身体洗浄のための設備を設置する。
- 保管 : ポリタンク等の容器は直射日光を避け、換気の良い冷暗所に保管する。
漏洩しても地中に浸透しないよう、床は耐酸材料で施行する。
流出した本品が外部に流出しないよう、流出防止施設を設ける。
- 注意事項 : アルカリと反応する。金属類、コンクリート等を腐食する。

8. 暴露防止及び保護措置

- 管理濃度 : 記載なし（労働省告知 第79号）
- 許容濃度 : 設定なし（日本産業衛生学会（1999年）
ACGIH（1997年版） TWA ; 1mg/m³（Feとして）
- 設備対策 : 自然換気ができないときには局所排気装置を設け、室外排出をする。
作業場所の近くに洗眼及び身体洗浄のための設備を設置する。
漏洩した本品が外部に流出しない施設（耐酸性床材、防液堤）
- 保護具 : 呼吸用保護具 防塵マスク
保護眼鏡 ゴーグル型
保護手袋 対酸性ゴム手袋
保護衣 不浸透性保護衣、ゴム長靴、ゴム前掛け

9. 物理的及び化学的性質

- 外観等 : 赤褐色、無臭の液体。
- pH : 0.8~1
- 比重 : 1.45/15°C
- 沸点 : 108°C
- 凝固点 : -12°C±1°C
- 引火点 : なし
- 発火点 : なし
- 可燃性 : なし
- 溶解性 : 水、アルコール、アセトンに自由に溶ける。

10. 安定性及び反応性

- 安定性 : 通常の条件下では安定。
- 反応性 : アルカリと反応する。金属を腐食する。
次亜塩素酸ソーダ、サラシ粉、塩素系漂白剤、カルキと混合すると、
有毒な塩素ガスを発生する。
- 危険有害な分解生成物 : 知見なし
- 避けるべき条件 : 他のものとの接触。

11. 有害性情報

皮膚腐食性：なし
刺激性：皮膚および眼に刺激がある。
急性毒性：経口マウス：LD₅₀；2,000mg/kg
腹腔内投与マウス：LD₅₀；601mg/kg
(LD₅₀は50%致死量を表す)
局所効果：皮膚、粘膜に触れると炎症を起こす。

12. 環境影響情報

残留性／分解性：加水分解により、水酸化物の沈殿を生じる。
生態毒性
魚毒性：ヒメダカ LC₅₀；260ppm・24時間 TLm 170ppm・48時間 TLm
(LC₅₀は50%致死濃度を表す)

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物：そのまま廃棄せず、廃棄物の処理及び清掃に関する法律及び関係法規・法令を順守し適正に処理するか、都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物の収集運搬業者や処分業者と契約し、処理を依頼する。
廃棄の方法：ソーダ灰や消石灰の大量の水溶液中に攪拌しながら徐々に加えて中和し、中和された溶液及びスラリーは多量の水で希釈する。その後の処理は水質汚濁防止法等の関連法令に従うこと。
汚染容器：容器等の廃棄物は、都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物の収集運搬業者や処分業者と契約し、処理を依頼する。
廃棄作業：作業を行なうときは必要に応じて保護具を着用する。

14. 輸送上の注意

輸送の安全対策：他の物質との混載はなるべく避ける。
荷役作業を行なうときは、必要な保護具を着用する。
国連分類：記載なし
国連番号：記載なし

15. 適用法令

労働安全衛生法：第57条の2第1項 通知対象物質 「鉄水溶性塩」
海洋汚染防止法：施行令別表第1「有害液体物質」(C類物質)
毒物劇物取締法：該当しない
P R T R法：該当しない

16. その他の情報

引用文献等
化学大辞典 共立出版 (1976)

化学便覧 日本化学会編 (1977)
17322 の化学商品 化学工業日報社 (2022)
RTECS (1985-86)
化学品の分類および表示に関する世界調和システム (GHS)

化学工業日報社

当安全データシートは、令和4年6月14日現時点で入手でき得た知識、情報に基づいており、取扱い、使用、保管、輸送、廃棄などについての安全に関する情報を提供する目的で作成されたものであり、記載のデータや評価に関して、いかなる保障をなすものではありません。

それぞれの用途や用法に適した安全対策を、自己の責任で実施の上お取扱いください。